

地域の専門家との連携による自然体験活動

前橋市立原小学校

原小学校は老農船津伝次平の生誕地にあり、古くから学問と勤勉を大切にしてきました。その歴史と伝統を引継ぎ、年間を通じて地域の名人と豊かな自然に接することができる行事を設定しています。積極的に自然環境へ触れる学習を行うことで、本校の教育目標の一つである「人間、自然に関心を向け、表情豊かな原小の子」を実現します。

1. 太陽ランド（1・2年生）

「さつまいも作りの名人」星野好孝さんと

大きな畑でサツマイモ植え

大きなサツマイモがとれました



太陽ランドは原小学校東にある大きな畑です。土地所有者の星野好孝さんの指導を受け、さつまいもの栽培を中心にを行います。老農船津伝次平が開発した石苗間（苗の間に石を置くことによる温度上昇効果を利用した野菜栽培）も行っています。

2. 伝次平農園（4年生）

「自然薯作りの名人」下田嘉文さんと

ビニールの上に土をかぶせます

じねんじょの栽培



伝次平農園は原小学校校庭の東にそって細長く伸びる農園です。折れやすい山芋は土中深く伸びるととりづらいますが、船津伝次平が開発した芋の下に板を置くことにより掘りやすくした農法を下田さんの指導のもとで実践しています。

3. 米作り（5年生）

「米作りの名人」齋藤啓治さんと

泥だらけになって田植え作業

広ーい学習田で育った稲と草取り作業



原小学校の南の学習田は2反に近い大きさです。齋藤さんは米一粒一粒を大切に指導を1年を通じてしてくださいます。手植えによる田植えや、夏の間の草取りは大変ですが、できあがった米は最高においしいです。

4. 味噌づくり（3年生）

「味噌作りの名人」阿久澤千代さんと

前日から柔らかく煮た大豆を使用

一人一人が丁寧に大豆をつぶして



阿久澤千代さんは富士見地区在住の味噌づくりの名人です。3年生は総合の学習の時間で豆のヒミツについて学習します。大豆について理解した後、おいしい味噌作りが始まります。